



写真提供:新潟日報社

背番号 **2** 若林尚希さんなおき (下関)
日本文理高校



写真提供:新潟日報社

優勝準園

ありがとう

【打撃成績】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失				
二回戦(対 藤井学園寒川)	4	0	2	0	2	0	0	0	0				
三回戦(対 日本航空石川)	4	0	3	0	0	0	0	0	0				
準々決勝(対 立正大湊南)	5	1	1	0	1	0	0	0	0				
準決勝(対 県岐阜商)	3	0	0	0	1	1	0	0	0				
決勝(対 中京大中京)	5	0	1	0	3	0	0	0	0				
大会通算成績	21	1	7	0	0	0	0	0	0				
	打	得	安	点	本	三	二	犠	球	盗	振	失	打率
	21	1	7	0	0	0	0	0	1	0	7	0	0.333

★ダブル
Wなおきの活躍に
村民も大きな感動

春の選抜大会に続き、八月八日から阪神甲子園球場で開幕した「第九十一回全国高校野球選手権大会」に出場した、日本文理高校の伊藤直輝さん(上関)と若林尚希さん(下関)が、見事に甲子園準優勝という快挙を成し遂げました。伊藤さんは投手、若林さんは捕手のバッテリーとして全試合フル出場し、大活躍しました。日本文理は大会六日目の二回戦から登場。エース伊藤さんの熱投と若林さんの好守で、藤井学園寒川を下し、甲子園夏初勝利。勢いに乗った日本文理は、その後も勝ち進み、新潟県勢初の決勝戦へ進む大躍進となりました。決勝の中京大中京戦は惜しくも敗れ、準優勝だったものの、日本文理高校が最終回で見せた驚異的な粘りは、球史に残る名勝負となりました。大会での日本文理高校の躍進、「Wなおき」の活躍は、村民をはじめ新潟県民に大きな夢と感動を与えてくれました。



関川中学校でのパブリックビュー



甲子園で声援を送る応援団

▶ 村では、関川中学校の大画面に向かって、「伊藤・若林コンビ」の熱い声援を送りました。

◀ 甲子園球場には、スポ少団員や一般村民など延べ六百人が応援に駆け付けました。



背番号 **1** 伊藤直輝さん(上関)

なおき

日本文理高校



ピンチを切り抜けた、エースの伊藤直輝さんと若林尚希さんがタッチ (県岐阜商戦)

写真提供:新潟日報社

【投手成績】	回	打	安	振	球	失	責	
二回戦(対 藤井学園寒川)	9	34	8	10	2	3	2	
三回戦(対 日本航空石川)	9	34	10	13	0	5	5	
準々決勝(対 立正大淞南)	9	35	7	7	4	3	3	
準決勝(対 県岐阜商)	9	34	6	11	3	1	1	
決勝(対 中京大中京)	8	46	17	8	5	10	10	
大会通算成績	回	球数	打者	安振	球	失	責	防御率
	44	656	183	48	49	14	22	4.30

【打撃成績】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失				
二回戦(対 藤井学園寒川)	4	0	0	0	1	0	0	0	1				
三回戦(対 日本航空石川)	4	1	3	6	1	0	1	0	0				
準々決勝(対 立正大淞南)	4	2	2	0	0	1	0	0	0				
準決勝(対 県岐阜商)	3	1	1	0	0	0	1	0	0				
決勝(対 中京大中京)	5	0	1	2	1	0	0	0	0				
大会通算成績	打	得	安	点	本	三	二	犠	球	盗	振	失	打率
	20	4	7	8	1	0	2	2	1	0	3	1	0.350

祝 甲子

夢と感動を



写真提供 新潟日報社

熱戦が終わり、準優勝の銀メダルを胸に行進する伊藤投手と若林捕手

2人の活躍に大きな感動の声

「五試合全てスタンドで応援して、とても感動しました。二人のように甲子園の舞台に立ちたいと思いました」
 (渡辺駿太さん・6年・上関)
 「二人とも本当によくがんばりました。とても感動しました」
 (上関女性・パブリック観戦)
 「二人の活躍は、関川村に夢と元気を与えてくれた。村の誇りです」
 (下関男性・球場観戦)
 「甲子園での二人の活躍は心から感動し、大変勇気をもりました」
 (栃木県男性・祝福メール)
 「素晴らしい関川出身バッテリーに拍手喝さいです」
 (千葉県男性・祝福メール)